

# 今を未来に

## 6月13日(火) プール開き

12日(月)に予定していたプール開きは水温が低くて実施できませんでした。翌日の13日も午前中は水温が低かったのですが、天候に恵まれ午後に予定をしていた学年・学級がプール開きを行いました。12日も好天であったため、子どもたちも「入れる。」と思って、登校して来ていました。「水温が低くて入れません。」と伝えると、一瞬怒り顔になり、口では「まあ、仕方ないなあ。」と言いつつも、その後の授業では明らかに「入りたい。」という気持ちを引きずりながらという子が、何人かいたそうです。



4年生は今年から高学年用プールになりました。プールの深さに慣れ、水に慣れるために、フラフープをくぐる練習です。

そのこともあって、13日に入れた学年・学級の子どもたちは、とってものにこやかな表情で、でもちょっと水の冷たさを感じながら、プールに入ることができました。この冬に大改装をしたプールですので、その気持ちよさは言うまでもありません。

懇談会でも、またお手紙でもご相談をいただいていた水着ですが、命を守ることと泳力を身につけるためという趣旨をご理解いただき、いわゆる「水泳の練習をするのに適した水着」をほとんどの子が守ってくださり、「水着をかえてもらっただけで、すごく水泳指導がしやすい。」「安全面に余分に気を使わなくてすみませんでした。」と、報告がありました。ご協力に感謝しています。

**ただ、ラッシュガードですが、**日焼けの防止にはなりますが、保温効果はありません。それどころか、学校の水泳指導では入水したり出たりするため、大きめのものを着ているお子さんは、そこに空気が入り、寒さを感じている様子がありました。また、水着については安全確保のため、色の濃い物(紺色か黒色と学年のお子様の様子に合わせて、はっきりと指導した学年もあります)とお願いをしてあったので、その上に着るラッシュガードについては、「体にフィットしていて、フードのついていない物」とお願いをしました。低学年のお子様を中心に、色の薄い物をご用意いただいたお子様がかなりいて、安全確保の視点から非常に困っていると、担任から相談がありました。可能であれば、色の濃い物をご準備ください。無理であれば、ワンピース型の水着の場合、ラッシュガードを水着の下に着られるか確かめて、対応してください。パンツ型の水着の場合は、そうはいかないので、着用するかどうかを今一度保護者の責任で判断してください。色の薄い物の着用を続ける場合は、その旨担任までお伝えいただきますよう、よろしくお願ひします。

## 「校長先生、パンジーの花枯れかけとるで植え替えしないの？」

池の周りや職員玄関、中庭のプランターにパンジーが植えてあります。雨がほとんど降らなかったため、今年はずっとより早く枯れてしまった物もあります。しかし、水やりを続けて、一部のパンジーはまだそのままにしてあります。花はほとんどついていないので、きっと「校長先生、・・・。」と声をかけてくれたのだと思います。

実は、植え替えを進めていないのには二つ理由があります。一つは、3年生の子はよく知っていると思うのですが、ツマグロヒョウモンが今年も飛んできて、卵を産み、大好物のパンジーの葉を食べているのです。ツマグロヒョウモンのため、もう少しパンジーをそのままにしておこうと思っています。もう一つの理由は、今年の夏が猛暑を予想されていることにあります。今年は太平洋高気圧とチベット高気圧が西日本の真上で重なる予報になっていて、35℃を超える猛暑日が連続することが予想されています。そうすると、プランターの花は夏休みでも朝夕に水やりが必要となってきます。水道代も考えなければならないので、植え替えを最低限にしています。写真にあるような黒とオレンジの幼虫ときらきら光るさなぎが見られます。皆さんもまた確かめてみてください。



### 3年生人権総合学習 幼稚園・保育園との交流始まる

3年生は、人権総合学習で幼稚園の年長さんや保育園のお子さん、交流をさせていただくことになり、まずB組の子が半分ずつに分かれて、19日・20日に幼稚園へ交流に行かせてもらいました。小学校では中学年と言われますが、まだまだ高学年の子どもたちに助けられることが多い3年生です。年下の子との関わりを楽しみにできる子もいれば、戸惑いを感じている子もいます。「みんなで楽しもう」をテーマに、年下の子の様子を見ながら、活動を進めていきます。

私も20日の日にその様子を見に行きました。幼稚園のコンクリートの山を駆け下りてくる3年生の後ろを年長の園児が真似ていたりもして、ちょっとどきどきする場面もありましたが、リレーを始めようとしてこけて泣いている子に優しく声をかけ、足を洗う所まで一緒にいてくれる3年生や鉄棒や雲梯で見本を見せている3年生がいて、初めての交流の時間にしては、その目的をよく理解して、交流に行っている様子に感心しました。



3年生が見本を見せてくれました。その3年生が気づいたことがあります。「小学校の雲梯は足がつくのに、幼稚園の雲梯は足がつかない。」

### 奨学金制度の募集お知らせ

「公益信託カトリック・マリア会・セント・ジョセフ奨学育成基金奨学金等助成対象者」の募集が、県教育委員会・市教育委員会を通して、その案内ということで、各小中学校に届きました。案内の概略は以下の通りです。

基金の目的：経済的に恵まれない家庭の高校生に奨学金を、小中学生に就学助成金を給付することにより、博愛平等の心に充ち敬謙篤実な社会人を育成する。

応募資格：経済的な理由により、就学困難な事情があること。  
向学心に富み、就学を継続できる見込みがあること。

採用予定人数：高校生は36名程度、小学生・中学生は合わせて18名程度

給付額：小中高ともに月額2万円（返済不要）

詳しい案内内容、応募方法を知りたいと言われる方は、至急校長まで連絡をください。応募案内・応募用紙をお渡しし、校長を経由し、校長が推薦文章を作成し、必要書類を揃えて、7月7日（当日消印有効）までに提出することになっています。